



阿久比の時の流れ～川の流れは絶えずして～

The Passage of Time in Agui
-The River Never Stops-



(平松礼二作 モネの池・彩交)

古代～江戸

阿久比の歴史は古く、藤原宮跡から出土した木簡に「甲午年(西暦 694 年)九月十二日知多評(後に知多郡)阿具比」と書かれたものが今までに知られている最古の史料です。

知多半島では焼き物に適した良質な土がとれたことから窯業が盛んになりました。

徳川家康の生母於大の方を通して戦国のロマンもたどることができます。



紀元前4000年

縄文時代の土器の発見

阿久比町大字横松の横松遺跡から縄文時代の土器が発見されました。これは縄文時代にこの地に人が住んでいたことを示しています。

詳細は 40 ページ



横松遺跡出土品 土器

738年(天平10年)

阿久比から平城京へ塩を納める

平城宮跡で発掘の木簡により、英比郷(現在の阿久比)から平城京へ塩を納めていたことが判明しました。

794年(延暦13年)

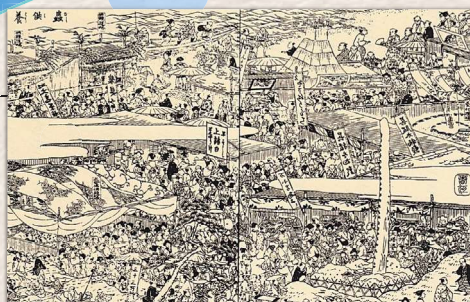
平安京(京都)に遷都

1124年(天治元年)

阿久比谷虫供養の始まり

このころ平安時代に知多半島出身で融通念仏の始祖、良忍上人や十念の念仏を説いた真盛上人の教えが元になり、始まったといわれています。

詳細は 32 ページ



虫供養の図 (尾張名所図会)



1185年(文治元年)

源頼朝、鎌倉幕府を開く



1338年(暦応元年)

足利尊氏、室町幕府を開く

1143年(康治2年)

知多半島で窯業が盛んに

鎌倉時代から室町時代まで知多半島は窯業地帯として栄えていました。町内では古窯や当時の焼き物がたくさん発掘されています。

詳細は 48 ページ



上芳池古窯址群

603~604年(推古11~12年)

聖徳太子冠位十二階、十七条の憲法制定

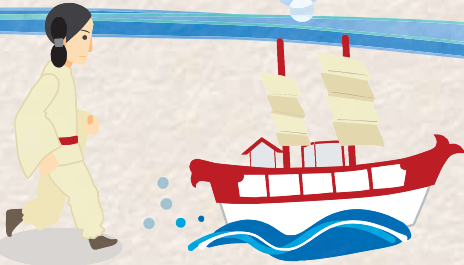


630年(舒明2年)

遣唐使の派遣開始

607年(推古15年)

遣隋使として小野妹子を派遣



694年(持統8年)

藤原宮跡から木簡の発掘

阿具比^{あぐい}から都へ米を送った際に使われた木簡が藤原宮跡から発掘されました。阿久比の地名を示す最古の史料になります。

詳細は 44 ページ



平城宮から出土した篠島木簡



藤原宮木簡 (右表・左裏)
(奈良国立文化財研究所許可済)

701年(大宝元年)

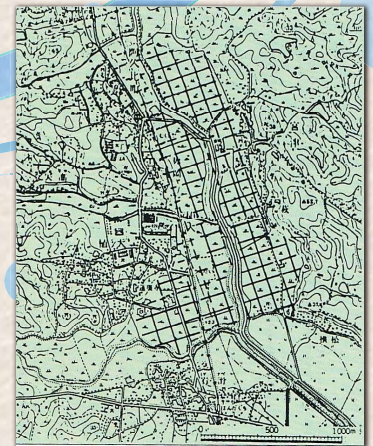
大宝律令制定

701年(大宝元年)

条里の始まり

班田収授の制度(6歳になると口分田を与えられ、死後国家に返す制度)による田の区割り(条里制)が行われ、町内にも条里の名残を確認できる場所がありました。

詳細は 45 ページ



条里制遺構分布図

(水野時二『条里制の歴史地理学研究』より)

710年(和銅3年)

平城京(奈良)に遷都

713年(和銅6年)

阿具比(あぐい)から英比(あぐい)へ

元明天皇から「畿内七道諸国郡郷名着好字令」(諸国の郡郷名は縁起の良い字で著せと)の勅令が下り、諸国の郡や村の名は2字の良い字にすることになりました。

1547年(天文16年)

於大の方が阿久比へ

家康の生母於大の方が坂部城主久松俊勝に再嫁しました。

詳細は 36・52 ページ



図書館蔵 安沢阿弥作

1603年(慶長8年)

徳川家康、江戸幕府を開く



1867年(慶応3年)

大政奉還